一緑園地区一 第4期地域福祉保健計画

つながりの輪を広げ 支えあい・助け合うまち緑園

緑園地区社会福祉協議会 菅野 英夫



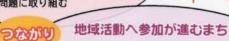
つながりの輪を広げ

地域福祉活動の充実を図り、誰もが健康で安全・安心して暮らせるまち!



安全で健やかに過ごせるまち

各自治会、民生、社協等各種団体が協働して 見守り活動支援・高齢者支援・健康づくり等の 諸問題に取り組む



子育て世帯から高齢者まで地域交流でつながりを 図ることで支え合い・助け合いができ、 困りごとが解決できるまちをめざす

地域・近隣で人・活動の

つながりのあるまち

研修会・ホームページや広報紙を 有効に活用し諸活動の情報共有を図り、参加の きっかけを作り担い手を集める

具体的実施事項について

活動全般

- ●広報活動の強化
- 広報委員会設置と開催
- ◎住民アンケートの実施 各種団体の担い手募集
- 趣味・特技で活躍の場提供
- 西小後利用福祉拠点活用
- 子育て・介護などの福祉活動拠点

B:こどもと高齢者

- ●キッズフェスティバルの開催
- ●こども見守り活動支援
- ◎魅力ある居場所作りと
- 情報交換会の実施 ②子どもと高齢者事業の検討
- ◎子育で協議会の設置

キッズフェスティバルのメンバー兼務

◎防犯:見守り会議の開催年間2回程度開催

《第4期》 線園地区 地域福祉保健計画

地域福祉保健計画課題と施策

詳細は第4期実行計画による

A: 地域交流事業推進

- ふれあいチャリティフェスティバル
- ●室内ゲーム大会
- ●福祉ふれあい祭り
- ◎趣味文化的事業の開催
- ◎開催時住民アンケート実施と事業内容見直し

C:健康づくりと予防

- ●食事会の毎月1回開催
 - さくらカフェ緑園
- 健康体操の充実 月間3回開催の継続
- ●地区社協研修会での開催
- The state of the s
- ◎ふれあい健康づくりの推進 健康づくり委員会の設置
- ラジオ体操を近場の公園を活用し自 治会と連携実施

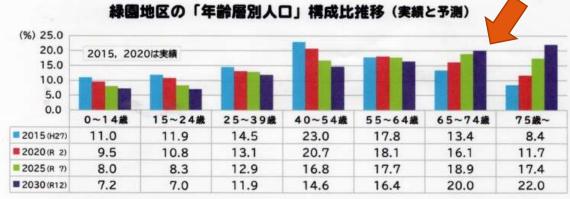
D: 支え合い・助け合い

- 災害時要援護者支援 自治会と協働で支援
- 地区社協の拠点づくり常設の拠点設置
- ●障がい者支援活動
- ◎助け合いグループ活動検討
- ◎福祉の窓口の見直し
- ◎施設訪問先の見直し
- ◎災害時のマニュアル作り

緑園地区設立30周年記念事業の推進

急速に進む高齢化の街へ

2025年に高齢化率は36.3%へ



緑園地区における人口は、2020年3月末現在で5,926世帯で13,798人となっている。

また、65歳以上高齢者層の人口構成は5年前の2015年には21.8%であったが、2020年3月末には27.8%と高齢化が進み超高齢地域となっている。一方、24歳以下の若年層は20.3%に減少していてその後も減少傾向が続く。

泉区役所の人口推移想定によると、高齢単身世帯・夫婦のみ世帯が増加し世帯規模は縮小、子育て層と子どもが転出傾向にあるとしている。 高齢者層は 2025年には人口12,126人に対し36.3%、2030年には42.0%と想定している。

これらのデータを見れば急速な高齢化(長寿化)対策は待ったなしであり、地域福祉の取り組みはさらに重要性が増している。第4期福祉保健計画は2025年を目標として取り組む。 (資料:2020年泉区統計情報及び2015年3月泉区役所「緑園地区の人口・年齢構成」による)









各種団体と「つながり」で開催

≪連携団体≫

- ●自治会8団体
- ●7つの公園
- ●コミュニテイセ ンター
- ●保健活動推進員
- ●子ども会
- ●保育園
- ●地域住民 他

保育園児も参加します

2丁目東田谷公園 5丁目北ノ入公園



緑園地区社協30周年記念事業

冠イベントの開催

記念誌の発行





第4期中間年と今後の対応

- ●「子育て支援協議会」の活性化
- ふれあい健康づくりの強化推進
- ●新型コロナ後の各種活動の正常化





